

秘

総務省承認	No.22779
承認期限 平成 16 年 4 月 30 日まで	

平成 年

漁業経営調査

家族型経営調査 経営体台帳

海区		事務所		出張所		階層	
経営体番号				氏名			
住所							

農林水産省

目 次

世帯員状況	1
	2
財産状況	
1 土地	3
2 建物	4
3 自動車	5
4 漁船船体	6
5 漁船機関	7
6 電気機器・冷凍装置	8
7 漁網・はえ縄	10
8 その他の漁業用固定資産	12
9 漁業外事業用固定資産	14
10 現物在庫(漁業)	16
11 育成中の養殖生産物	18
12 現金・貯蓄及び借入金	19
租税公課諸負担	20



経営状況

1 使用漁船

番号	コード	漁船名	総トン数	馬力数	所有・借入別	
					所有	借入
1			トン	PS	01	02
2					01	02
3					01	02
4					01	02
5					01	02
6					01	02
7					01	02
8					01	02

注：調査期間内において使用した漁船について記入する。

2 養殖施設面積

コード	養殖種類	施設面積

3 最盛期の漁業従事者数

最盛期の 漁業従事者数
人

財産状況

1 土地

(1) 総括表(調査開始時)

番号	地目	地番又はほ場名	年(度)始め面積	年(度)始め価額	使用割合	
					漁業・養殖業	
					部門別	
1			a	円	%	%
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						

注：1) 年(度)始め面積及び年(度)始め価額については、市町村役場等の「固定資産課税台帳」により記入する。

：2) 漁業使用割合は、使用面積及び使用日数から推定し記入する。

(2) 異動表

番号	地目	異動年月		異動事由 コード	年(度)内異動				使用割合	
		年	月		増加		減少		漁業・養殖業	
					面積	価額	面積	価額	部門別	
1					a	円	a	円	%	%
2										
3										
4										
5										

注：1) 調査期間内に購入、売却などを行った土地(資産)について記入する。

：2) 1)は、該当のある以下の各表について同じ扱いとする。

2 建 物

(1) 総括表(調査開始時)

番 号	種 類	構 造	取 得 年 月		耐 用 年 数	残 存 率	取 得 価 額	年(度)始め面積	使 用 割 合			
			年	月					漁業・養殖業		漁業外	家 計
									部 門 別			
1					年	%	円	m <sup>2</sup>	%	%	%	%
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												

(2) 異動表

番 号	種 類	構 造	異 動 年 月		異 動 事 由	耐 用 年 数	残 存 率	年 ( 度 ) 内 異 動				使 用 割 合			
			年	月				増 加		減 少		漁業・養殖業		漁業外	家 計
								面 積	価 額	面 積	価 額	部 門 別			
1					コード	年	%	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup>	円	%	%	%	%
2															
3															
4															
5															

注：異動事由には、大修繕、取り壊しなど具体的に記入します。

3 自動車

(1) 総括表(調査開始時)

番号	用途区分 コード	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合			
		年	月				漁業・養殖業		漁業外	家計
							部門別			
1				年	%	円	%	%	%	%
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										

注：用途区分には、乗用車、軽トラック、自動二輪車などの種類を記入する。

(2) 異動表

番号	用途区分 コード	異動年月		異動事由 コード	耐用年数	残存率	年(度)内異動		使用割合			
		年	月				増加額	減少額	漁業・養殖業		漁業外	家計
									部門別			
1					年	%	円	円	%	%	%	%
2												
3												
4												
5												

注：1) 異動事由は、購入、売却、資産分割(贈与)などについて記入する。

：2) 自動車においては大修繕は含めず、修理に要した費用は経常経費としてそれぞれの支出科目に配分・計上する。

4 漁船船体

(1) 総括表(調査開始時)

番号	漁船名	総トン数	船種船型	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合			
				年	月				漁業・養殖業		漁業外	家計
									部門別			
1		トン				年	%	円	%	%	%	%
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												

注：船種船型は、無動力船、FRP船、軽合金船などの区分について記入する。

(2) 異動表

番号	漁船名	総トン数	船種船型	異動年月		異動事由	耐用年数	残存率	年(度)内異動		使用割合				
				年	月				コード	増加額	減少額	漁業・養殖業		漁業外	家計
												部門別			
1		トン					年	%	円	円	%	%	%	%	
2															
3															
4															
5															

注：異動事由には、購入、売却、資産分割(贈与)、大修理などの区分について記入する。(以下、5漁船機関及び6電気機器・冷凍装置についても同じ扱いとする。)

5 漁船機関

(1) 総括表(調査開始時)

番号	搭載漁船名	機関の種類	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合			
			年	月				漁業・養殖業		漁業外	家計
								部門別			
1					年	%	円	%	%	%	%
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											

注：機関の種類は、4サイクルディーゼル、船外機などの区分について記入する。

(2) 異動表

番号	搭載漁船名	機関の種類	異動年月		異動事由	耐用年数	残存率	年(度)内異動		使用割合			
			年	月				増加額	減少額	漁業・養殖業		漁業外	家計
										部門別			
1					コード	年	%	円	円	%	%	%	%
2													
3													
4													
5													

6 電気機器・冷凍装置

(1) 総括表(調査開始時)

番号	搭載漁船名	機器名	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合			
			年	月				漁業・養殖業		漁業外	家計
								部門別			
1					年	%	円	%	%	%	%
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

注：機器名は、発電機、電動機、無線電話、レーダー、魚群探知機、ソナー、冷凍型式別などの区分について記入する。

(2) 異動表

番号	搭載漁船名	機器名	異動年月		異動事由 コード	耐用年数	残存率	年(度)内異動		使用割合		
			年	月				増加額	減少額	漁業・養殖業 部門別	漁業外	家計
					円	円	%	%	%	%		
1						年	%					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

注：電気機器においては大修繕に含めず、修理に要した費用は、経常経費としてそれぞれの支出科目に配分・計上する。

7 漁網・はえ縄

(1) 総括表(調査開始時)

番号	漁業種類	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合	
		年	月				漁業・養殖業	
							部門別	
				年	%	円	%	%
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注：漁業種類は、漁網・はえ縄1か統ごとに行うが、同時期に購入したものについては漁業種類ごと一括して記入しても差し支えない。

(2) 異動表

番号	漁業種類	異動年月		異動事由 コード	耐用年数 年	残存率 %	年(度)内異動		使用割合	
		年	月				増加額 円	減少額 円	漁業・養殖業	
									部門別 %	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

注：異動事由は、購入、売却、廃棄、災害流出などの区分について記入する。

8 その他の漁業用固定資産

(1) 総括表

番号	品名	取得年月		耐用年数	残存率	取得価額	使用割合			
		年	月				漁業・養殖業		漁業外	家計
							部門別			
1				年	%	円	%	%	%	%
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

(2) 異動表

番 号	品 名	異 動 年 月		異 動 事 由 コ ー ド	耐 用 年 数	残 存 率	年 ( 度 ) 内 異 動		使 用 割 合			
		年	月				増 加 額	減 少 額	漁 業 ・ 養 殖 業		漁 業 外	家 計
									部 門 別			
					年	%	円	円	%	%	%	%
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												

9 漁業外事業用固定資産

(1) 総括表

番 号	品 名	取 得 年 月		耐 用 年 数	残 存 率	取 得 価 額	使 用 割 合	
		年	月				漁 業 外	家 計
				年	%	円	%	%
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

(2) 異動表

番 号	品 名	異 動 年 月		異 動 事 由 コ ー ド	耐 用 年 数	残 存 率	年 ( 度 ) 内 異 動		使 用 割 合	
		年	月				増 加 額	減 少 額	漁 業 外	家 計
					年	%	円	円	%	%
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										

10 現物在庫(漁業)  
 (1) 未処分漁業生産物

番 号	品 名	コ ー ド	年 ( 度 ) 始			年 ( 度 ) 末		
			数 量	単 価	評 価 額	数 量	単 価	評 価 額
1				円	円		円	円
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注：品名は、干製品及び冷凍品などの在庫についても記入する。

なお、漁業生産物は生鮮のまま取り引きされる事が多いので、年(度)末に一時的に在庫していても非貯蔵性生産物については記入しない。

(2) 漁業用資材

番 号	品 名	コ ー ド	年 ( 度 ) 始			年 ( 度 ) 末		
			数 量	単 価	評 価 額	数 量	単 価	評 価 額
1				円	円		円	円
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

注：固定資産として計上していない燃料、漁具、網地、養殖施設用の諸材料などを記入する。

11 育成中の養殖生産物

番号	種類 コード	成長段階	年(度)始			年(度)内異動								年(度)末				
			数量	単価	評価額	増加額			減少額					数量	単価	評価額		
						異動事由 コード	数量	単価	評価額	異動事由 コード	数量	単価	評価額					
1				円	円			円	円				円	円			円	円
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		

注：1) 成長段階は、1年魚、2年魚及び魚体の大きさなどの養殖生産物を評価する区分ごとに記入する。

：2) 異動事由は、購入、成長、売却、災害などの区分について記入する。

12 現金・貯蓄及び借入金

(1) 現金・貯蓄

区 分	年(度)始 現在高	年(度)内異動		年(度)末 現在高
		引 出 し	預 入 れ	
手 持 現 金	円	円	円	円
預貯金	漁業協同組合			
	郵便局			
	銀行その他			
諸掛金	漁業共済			
	簡易保険等			
	生命保険その他			
有価証券	漁業協同組合出資			
	その他			
貸 付 金				
売掛金・未収入金				

(2) 借入金

区 分	年(度)始 現在高	年(度)内異動		年(度)末 現在高
		借 入 れ	返 済	
借入金	財政資金	円	円	円
	漁協系統資金			
	その他の借入金			
買掛金・未払金				

租税公課諸負担

番号	種類	コード	年(度)始 末納額	年(度)内		漁業部門割合
				賦課額	納入額	
1			円	円	円	%
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

2 建物

(1) 総括表(調査開始時)

番号	種類	構造	年(度)始め面積	使用割合			
				漁業・養殖業		漁業外	家計
				部門別			
			m <sup>2</sup>	%	%	%	%
1	納屋	木造	50	80	100	20	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							

秘

総務省承認 22778

承認期限 平成16年4月30日まで

平成 年

漁業経営調査

家族型経営調査 日記帳（収支）

海区		階層	
氏名		連絡先	
住所			

農林水産省

# 記入の仕方

## 1 収入・支出の記入

この票には、現金の出し入れや掛取引があったとき、その取引の内容、品名、数量、金額などを記入します。

- (1) 品名・適用欄には、現金収入であれば何を販売したのか、誰がどこで働いて受け取った収入であるかがわかるように、また、現金支出の場合には何に使ったのかを記入します。
- (2) 数量の欄は、販売又は購入したものの数量をふだん用いている単位で記入します。
- (3) 収入の欄は、水産物の販売代金、受け取った賃金などの金額を記入します。
- (4) 支出の欄は、漁業生産資材の購入代金、支払った賃金などの金額を記入します。
- (5) 金額の記入にあたっては、消費税を含めた金額を記入してください。
- (6) 家計費総額の欄は、家計簿などからまとめて記入してください。  
なお、重複を避けるため、取りまとめ期間も必ず記入してください。

### 掛け売り又は掛け買いの場合の記入

- ・掛けで売った場合は、品名・適用欄に 販売（掛）と記入し、収入欄にその金額を記入します。後日、現金を受け取った場合は、 月 日の掛回収とし、その金額を収入欄に記入します。
- ・掛けで買った場合は、品名・適用欄に 購入（掛）と記入し、支出欄にその金額を記入します。後日、現金を支払った場合は、 月 日の掛支払とし、その金額を支出欄に記入します。

## 2 贈り物・もらい物・物々交換

この表には自家生産物をよそにあげたり、品物をもらったりした他に、物々交換をした場合に記入します。

- (1) 自家生産物をよそにあげた場合や賃金・料金などを現物で支払った場合は、贈り物（支払った物）の欄に品名、数量、見積り額を記入します。反対に、賃金・料金などを現物で受け取った場合、あるいはよそから物をもらった場合は、もらい物（受け取った物）の欄に品名・数量、評価額を記入します。
- (2) 物々交換の場合は、渡した物と受け取った物の品名、数量をそれぞれ該当する欄に記入します。  
この場合、見積り額の欄には、渡した物の見積り金額を記入します。

## 3 家計に使った自家生産物の記入

この表には、自分の家で生産した物を家計用に使ったときに、その品名、数量、評価額を記入します。毎日使う物は10日分ほどまとめて記入し、ときどき使う物はその都度記入します。

( 記 入 例 )

1 収入・支出

経営体番号	101	1月	1枚目
-------	-----	----	-----

日付	品名・適用	数量		収入(掛売り)	支出(掛買い)
12	すずき漁協出荷	13 kg		19,000 円	円
"	漁労作業衣	1着			12,000
"	漁船用重油	30 L			2,500
13	あわび漁協出荷	7 kg		23,600	
14	のり共販	4箱		118,000	
"	販売手数料(1~12日)				1,850
"	共販手数料(1~14日)				7,400

家計費総額 (1月1日~1月31日)		132,600 円
-----------------------	--	-----------

2 贈り物・もらい物・物々交換

日付	贈り物			もらい物			見積り額
	品名	数量		品名	数量		
12	すずき	2 kg					2,900 円
13				米	10 kg		5,200
"	あわび	2 kg					6,700

3 家計に使った自家生産物

日付	品名	数量		評価額
12	すずき	1 kg		1,450 円
13	あわび	1 kg		3,300







秘

総務省承認 22777

承認期限 平成16年4月30日まで

平成 年

漁業経営調査

家族型経営調査 日記帳（労働）

海区		階層	
氏名		連絡先	
住所			

農林水産省

# 記入の仕方

## 1 労働状況の記入

この表には、自家で行った漁業労働を海上、陸上（作業区分の「海上、陸上」のいずれかに を付す。）及び企画管理労働に分けて記入します。

海上労働の場合は、漁業種類名、出漁回数を記入し、その時の人数と延べ労働時間を家族（男女別）と雇用者に分けて記入します。人数の変更があった場合は、いちばん多い時の人数を記入します。延べ労働時間には、昼食や休憩時間を除いた実際に働いた時間を、例えば2人で5時間なら10時間と記入します。

陸上労働及び企画管理労働についても同様に記入しますが、特に企画管理労働については具体的に次のようなものを記入します。

- ・ 漁業経営に関する集会、打ち合わせ等への参加
- ・ 漁業経営に必要な知識・技術習得を目的とした研修会、講習会への参加
- ・ 漁業経営に関する簿記等の記帳
- ・ 漁業経営に必要な営漁資金の借入れのための時間など

## 2 漁獲量・収獲量の記入

この表には、漁業及び養殖業により採捕、育成された漁獲物及び収獲物について該当する欄に記入します。

- (1) 漁獲量の欄は、漁獲物を魚類、貝類（から付き）、その他の水産動物類（いか、たこ、うに、なまこなど）、海藻類に分けて生重量（kg）で記入します。
- (2) 収獲量の欄は、養殖した種類名をそれぞれ記入します。のりは板のりとそれ以外に分けて枚数と干重量（kg）、かきはむき身の重量（kg）、ほたてがいはから付きの重量（kg）、真珠はサイズ別の重量（g）、真珠母貝、わかめ、ぶり・まだいは生の重量（kg）を記入します。





